

平成23年度

学校経営方針



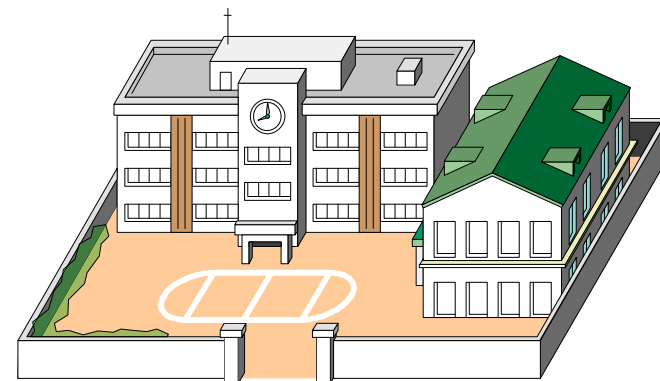
信頼される学校をめざして
～子どもが育ち伸びる楽しい学校～



平成23年6月15日
福岡市立西戸崎小学校

西戸崎小学校は

- 明治24年「尋常小学校」開校
平成23年－創立121年



児童数

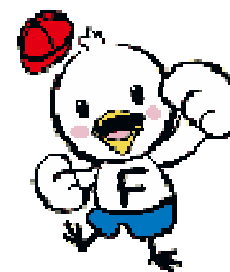
年	19年	20年	21年	22年	23年
児童数	327	344	352	353	346

西戸崎っ子 5つのめあて

- さ 「さわやかな 心のこもった あいさつ」
- い 「言われずに 進んで取り組める」
- と 「友達と助け合い」
- ざ 「ざっ草に学ぶ しんぼう強さ」
- き 「昨日より今日 今日より 明日へと伸び続けよう」

小学校教育は 公教育として

- 憲法，教育基本法など教育関係法規
- 文部科学省，福岡県，福岡市の施策
「あたらしい福岡の教育計画」の具現化！
- 地域及び子どもの特徴を生かして

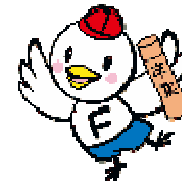
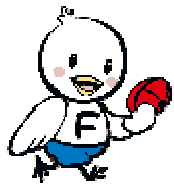


経営方針を作成し，
教育課程を編成



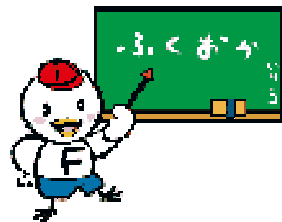
学校教育目標は

- 基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志をもち、心豊かにたくましく生きる子どもを育成する



《あいさつ，掃除，自学，立志》

あたらしい福岡の教育計画～「福岡スタンダード」の具現化



西戸崎小学校では

- 子どもを中心にした教育
- 愛情と信頼に満ちた教育
- 共通理解に基づく教育
- 家庭・地域との連携しての教育



特に学校では・・・

- 組織として、全職員で協働して



「子どもたちにとって 最大の環境は人」

本年度の教育の重点

『信頼される学校をめざして
凡事徹底～共通理解・共通実践』

■ 子どもたちの学力向上

- * 学習基盤の確立・・・
- * 具体的な取組・・・

■ 教職員の指導力向上

- * めざす学校像・・・
- * 開かれた学校の推進・・・
- * 教職員の意識改革・・・



子どもたちの学力向上

学習基盤の確立

- 生活規範(あいさつ, 掃除, ことば遣い, 名札など)
- 学習規律(身構え・物構え・心構え, 発表など)
- 人権感覚(自尊感情, よりよい人間関係づくりなど)



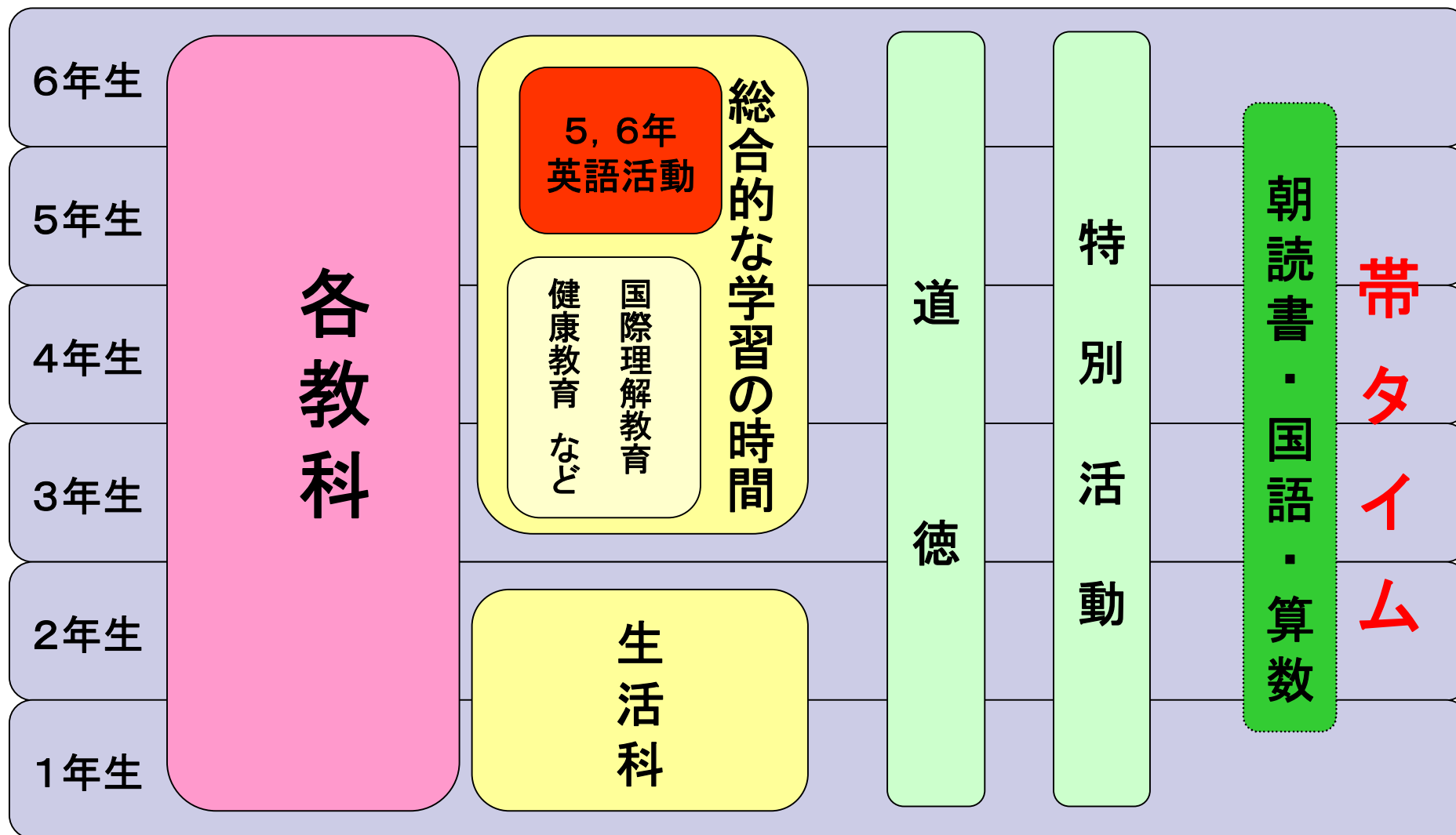
子どもたちの学力向上

具体的な指導

- 子どもたちの実態分析の共通理解
- 授業研究・授業改善の取組(そろえる指導)
- 習得から定着へ(家庭学習の充実)



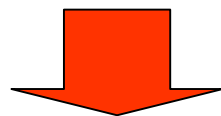
本校の教育課程



「学年担任制」について

学級の枠を越えて、協働で、児童の指導を行うシステム

- 交換授業（教科を分担して、指導する単元を設定）
 - 1組担任・・・理科，音楽科を担当
 - 2組担任・・・社会科，体育科を担当 など
- 教師の専門性が生き，評価も一定
- 子どものよさを引き出す機会が増大
- 学年全体での活動や行事の連携強化



指導方法工夫改善・・・複数の教師が多様な指導の展開



子どもと向き合う時間

24時間 × 365日 = 8760時間

1年間の学校生活時間(6年生)

7.5時間 × 197日
= 約1377時間

家庭・地域での時間

学校生活時間の内訳(6年生)

国語136時間 社会80時間 算数135時間 理科80時間
音楽40時間 図工38時間 家庭科41時間 体育68時間
道徳26時間 学級活動26時間 総合79時間 特別活動56時間
合計805時間

休み時間
197時間

給食
147
時間

朝の会
帰りの会
99
時間

掃除
時間
50
時間

スキル
タイム
50
時間

準備時間
29時間

学校にいる1日の時間の内訳

学校にいる時間 7.5時間(450分)

45分 × 6時間 = 4.5時間(270分)

給食
45分

休み
時間
60分

掃除
15分

スキル
15分

朝
帰りの
会
35分

準備
10分

家庭学習の充実

■ 家庭学習の手引き

- * 低学年20分
- * 中学年40分
- * 高学年60分

■ 家庭との連携

- * 習得したことは、
繰り返し学習で
定着を図る！

家庭学習のてびき

高学年(5・6年用)



福岡市立西戸崎小学校

家庭学習の手引き 5・6年用

家庭学習は、学んだことをもう一度振り返り、確かな学力を身につけるものです。毎日こつこつと続けて行くことが、あなたの生きる力を高めていくのです。

さあ、できるところから一步を踏み出していきましょう。

1 家庭学習の習慣化を！ *学力アップは継続正しい生活から！*

- ① 早寝・早起き・朝ごはん・排便を。
- ② 家の手伝いを面倒がらずにやろう。
- ③ 自分から声を出して、回りの人にあいさつをしよう。
- ④ 読書を進めよう。
- ⑤ ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読もう。
- ⑥ 新しく発見したことや気になったことは、本やパソコンで調べてみよう。
- ⑦ 見直しを持って、用具や学習の準備をしておこう。
- ⑧ 毎日1時間は、机に向かう習慣をつけよう。



2 宿題のほかにこんな学習をしてみよう！！ *できるところから！*

- ① はっきりした声で音読の練習をする。(めあてをもって)
- ② 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ③ ドリルなどを使って筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ④ 今日の授業で勉強したことをもう一度家庭学習のノートに写す。
- ⑤ ドリルなどを使って、計算問題に毎日ねばり強く取り組んでみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
- ⑧ 教科書の言葉の広場の問題(国語)や練習問題(算数)を解いてみる。

教職員の指導力向上

めざす学校像

- 子どもたちが「**通いたくなる学校**」の創造
(たのしくわかる授業づくり)
- 保護者や地域が「**通わせたい学校**」の創造
(子どもに寄り添った指導)
- 教職員が「**働きたくなる学校**」の創造
(参画意識の高揚, 風通しのよい職場)



教職員の指導力向上

開かれた学校づくり
教職員の意識改革



- 日常的な情報発信，説明責任
(学校だよりの発行，ホームページの更新など)
- 教室での子どもの姿で勝負！
(わかるよろこび感じる授業づくり など)
- 学ぶ者だけが教えることができる
(研修の充実，積極的な対外的研究への参画など)

危険回避の訓練・・・

- 学期1回, 「避難訓練」の実施
(火災, 地震, 台風, 不審者対応を想定)
- 健康面・・・スポーツテストの実施
(子どもたちの実態を把握し, 体力向上に反映)
- 保健面・・・命を大切にする学習
(薬物乱用防止, 食に関する教育など)



地域との連携による教育の推進

■ 地域・保護者・関係諸機関との連携

公民館，自治協議会，民生委員，主任児童委員，交通安全推進協議会，老人会，子ども会 など

■ 学校サポーター会議等の活性化

いじめ防止対策委員会，学校保健委員会，学校図書館ボランティア など



家庭との連携による教育の推進

- **小学校の段階は、生涯学習の基礎づくり**
遅刻や欠席をしない、家庭学習の習慣化 など
- **命の大切さを伝える教育の推進**
心の内面に根ざした道徳性の育成、差別や偏見のない学級集団づくり など
- **子どもたちの頑張りの後押しを！！**
授業参観は、子どもたちが活躍する場





大人として、子どもの生きるモデルに
子どもたちに語っていくことを大切に
「あなたが大切」と



福岡市立西戸崎小学校